



～技術伝承動画 第1弾～

信州の伝統的工芸品「阿島傘」のコア技術を「見える化」した動画を制作しました

県では、伝統的工芸品に興味を持つ方々へのPRを図り、将来の後継者候補・関係者の発掘につなげるため、長野県知事指定伝統的工芸品の「阿島傘」について、長い歴史の中で育まれてきた特長的な技術(コア技術)を「見える化」した技術伝承動画を制作しました。

★「阿島傘」のコア技術を「見える化」した動画の掲載先

<https://www.pref.nagano.lg.jp/mono/dennsyotool.html>

★動画の見どころ

- ・竹を加工して傘骨を作る工程
- ・和紙張りの伝統技法
- ・熟練職人の手仕事
- ・阿島傘の歴史と継承活動
- ・地域文化としての価値



★阿島傘とは

阿島傘の伝統技術は、1700年代(江戸時代中期)から、阿島地区(現在の下伊那郡喬木村)で受け継がれてきました。

骨になる竹と雨よけの和紙、骨をつなぐ「ろくろ(エゴノキ等)」、防水のための「荏胡麻(えごま)」等、地域内で採取できる様々な材料により製造され、工程が多いため、「骨の数だけ技がある」とも言われています。

絵柄は作り手によって多様で美しく、日用品の他、観光やイベント等でも活用されています。



わたしの、私たちの長野県。

150th Anniversary 1876-2026

(問合せ先)

担 当 産業労働部 産業技術課
保安・伝統産業係 峯村、伊藤
電 話 026-235-7133 (直通)
026-232-0111 (代表) 内線 2938
E-mail sangi@pref.nagano.lg.jp